

2021年4月16日

各 位

地域文化活動助成制度の第59回助成先が決定！

～「草の根」文化活動をお手伝いして29年～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、第59回 地域文化活動助成制度の助成先を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本制度は、愛媛県内で文化活動を継続しておられる皆さま方に対し、活動経費の一部を助成させていただくことで、地域独自の伝統文化の継承や地域生活文化の水準向上に寄与することを目的としています。コロナ禍でも感染対策を講じて活動されている団体は数多くあり、今回は前回の約2倍となる24先に総額440万円を助成いたします。

本制度は1992年から年間2回の助成を29年にわたって実施しており、今回分を含めた累計は、先数で1,251先、総額2億4,261万円となります。(「平成30年7月豪雨」被災団体対象 特別助成14先、697万円を含む)

記

〔第59回 地域文化活動助成制度の概要〕

助成先数 24先
 助成金額 440万円
 助成金贈呈日 2021年4月20日

愛媛県が新型コロナウイルス感染症「感染対策期」へ移行したため、例年実施している贈呈式は中止いたします。

助成先(分野別、順不同、敬称略)

郷土芸能分野 (9先) ・宮内獅子舞保存会 (砥部町) ・永田舎儀利保存会 (伊予市) ・南梅本町日吉神社獅子舞保存会 (松山市) ・橙黄会 (今治市) ・神明神社世話人会 (今治市) ・岩城西壇尻保存会 (上島町) ・荒川獅子舞保存会 (西条市) ・宇佐八幡神社 浦安の舞保存会 (西条市) ・深浦神輿保存会 (愛南町)	演劇分野 (2先) ・未来演劇Kプロジェクト (今治市) ・人形劇団 ほび (今治市)
	郷土史分野 (2先) ・一遍会 (松山市) ・旧庄屋毛利家を守る会 (宇和島市)
	創作芸能分野 (2先) ・和太鼓クラブ黒森会 (新居浜市) ・四国中央磐座太鼓保存会 (四国中央市)
	文芸分野 (1先) ・常盤川柳グループ (今治市)
音楽分野 (4先) ・ザ・シーブリーズ (松前町) ・コール YAYA (松山市) ・新居浜混声合唱団 (新居浜市) ・三瓶しおさいコーラス (西予市)	生活文化分野 (4先) ・伊予山の辺のみちを歩こう会 (松山市) ・すみれ野民踊会 (松山市) ・石鎚みずドコスモス (新居浜市) ・大洲かるた会 (大洲市)

以 上

助成団体・助成内容の一例ご紹介

<p>新居浜混声合唱団 様</p>	
<p>助成対象：世代と心をつなぐコンサート“輪”開催</p>	
<p>新居浜混声合唱団様は、1963年に設立された県内でも歴史ある混声合唱団です。古典の宗教曲から新しい合唱曲、また、新居浜市に関係ある楽曲まで、幅広く取り上げてきました。</p> <p>「多くの人に歌う楽しさを知って欲しい」と、4年前から定期演奏会と共に「世代と心をつなぐコンサート」を開催。本公演は、歌好き人を公募して共に練習を重ね、コンサートに出演してもらう企画で、本格的なステージで合唱の楽しさを体験できると好評を博し、毎回多くの一般参加者が出演しています。</p> <p>5月9日、新居浜市民文化センターにて開催予定の「世代と心をつなぐコンサート“輪”」では、東京オリンピック開催にちなみ、歌い手と聞き手の「輪」、世代や時代をこえて愛される歌の「輪」をテーマとし、様々な演目を披露する予定です。</p>	

<p>深浦神輿保存会 様</p>	
<p>助成対象：ハッピー新調</p>	
<p>深浦神輿保存会様は、愛南町深浦地区の蘇家神社に伝わる神輿渡御行事を保存継承されています。</p> <p>毎年11月の秋祭りでは、早朝の神事後、黒・白と呼ばれる2体の神輿が山頂にある蘇家神社から180段の急階段を降り、地区内の各所で神輿を舞わします。</p> <p>「舞わす」とは、神輿の担ぎ棒の端を1本ずつ順番に地面に付けながら回し、神輿が舞っているかのように見せることで、波に浮かんで揺れる姿を表現したとも言われています。夕刻には神輿を帰らすまいと、四つ太鼓と牛鬼が宮入を遮り、長時間押し合った末、神輿が石段を厳かに登り拝殿に収まりますが、神輿の一連の動作を含め南予でも他に類を見ない珍しい祭事です。</p> <p>今後は中断している五ツ鹿を復活させ、秋祭りの本来の牛鬼、四つ太鼓、唐獅子、五ツ鹿、神輿を揃え、後世に伝えていくことが地区全体の目標です。</p>	